

始良小学校「授業基本モデル」

「子どもの学力向上に責任をもつ授業」⇒ 「どの子どもあと一問」

【ねらい】 明確なねらいのもと、特別支援教育の視点を大切に、児童が納得する授業をとおして、確かな学力の向上を図る。

◎ねらいを明確にした授業 ◎児童が解決に向けて思考・判断・表現する授業 ◎児童の達成状況を確実に見届ける授業

【基本的な学習過程】

	時間	学習の基本過程	具体的な活動例	授業構成のポイント
導入	5 ～ 10	1 興味・関心、学習の必要性から「めあて」を設定する。 疑問形式のめあて	○課題を受け止める ○試行 ○「めあて」の設定 ○学習の流れの確認 ○解決方法の検討	●「まとめ」から「疑問形式のめあて」を考えて！ ●教師の説明や指示は短く端的に！
		2 解決への見通しをもつ。 言語活動の設定	○具体的な操作活動、念頭操作活動 ○思考させる活動（ヒントカード、ICT機器） ○自分なりの考えを書く活動 ○ペア学習・グループ学習での思考・表現 ○全体での練り上げ	●自力解決は時間を設定して！（時間不足の子は練り上げで理解を） ●意図的な指名を！ ●板書は構造的にわかりやすく！ ●ノートの手書き方にもひと言！ ●堂々と説明できる子どもに！
展開	20 ～ 25	3 自力解決に取り組む。		
		4 練り上げでよりよい解決を導く。 言語活動の設定		
終末	10 ～ 15	5 学習のまとめをする。 めあてに沿ったまとめ	○まとめの確実な板書 ○具体的な問題による達成状況の評価 ○習熟を図る場の設定と習熟の程度に応じた個別指導（発展的課題を含む）	《ラスト15分から家庭学習へ》 板書 → 練習 → 宅習
		6 学習の達成状況を確実に見届ける。 確実な見届け 7 定着・発展を図ったり、振り返りを行ったりする。 8 家庭学習へつなげる。	○教科書 ・ プリント ・ ペア学習 ○習熟を図る家庭学習内容の提示	●めあてに沿ったまとめを！ ●基本的な問題で「できた喜び」を！ ●発展問題の準備を！ ●家庭学習へのつなぎを！

「終末(まとめ)」から「導入(めあて)」をデザイン

「できた・わかった」という状態で下校させる

習熟を図り、確かな学力の向上につなげる

「家庭と学校が連携した家庭学習」の充実

学校では・・・	家庭では・・・
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習の「構え」をしっかり身に付けさせる。 ◆ 当日の学習内容の確実な定着を図るための課題を与える。 ◆ 与えた課題は、確実に見届け、フィードバックする。 ◆ 自分の考えを書き、説明できる生き生きとした学習の姿を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ テレビやゲームの時間の使用ルールを徹底させる。 ◆ 決まった時間に机に向かう習慣を身につけさせる。 ◆ 家庭学習の様子を見守り、支援する。 ◆ 親子で語り、ともに読書に親しむ雰囲気醸成する。